

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	豊野
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3,933,163 千円	
年 効 用		245,239 千円	
廃 用 損 失 額		53,217 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4,547,890 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 3 , 5 7 4	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、ハクサイ、アサメ
営農経費の節減	営農経費節減効果	7 2 , 6 5 8	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、ハクサイ、アサメ
	維持管理費節減効果	6 7 , 2 6 8	用水系統の見直しや用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	8 1 , 7 3 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		2 4 5 , 2 3 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	中篠津中 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	----------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3,673,790 千円	
年 効 用		273,594 千円	
廃 用 損 失 額		9,261 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4,272,335 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 7 , 3 8 2	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、ハクサイ、マメ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 2 5 , 3 3 4	ほ場の区画整理や用排水施設の改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、ハクサイ、マメ
	維持管理費節減効果	6 1 , 6 7 6	用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	5 9 , 2 0 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		2 7 3 , 5 9 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	篠津幹線南 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	-----------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,711,500 千円	
年 効 用		187,289 千円	
廃 用 損 失 額		234,049 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 5 4	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,629,697 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 4 , 8 7 7	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、ハクサイ、アサメ
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 1 , 3 6 3	ほ場の区画整理や用排水施設の改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆 小豆、ハクサイ、アサメ
	維持管理費節減効果	9 4 , 1 0 9	用排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 6 , 9 4 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		1 8 7 , 2 8 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	柏木大成
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		756,000 千円	
年 効 用		52,173 千円	
廃 用 損 失 額		17,656 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 9 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,036,344 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 1 , 8 4 3	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、牧草、馬鈴薯（食）、デントコーン、アスパラ
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 0 , 5 0 6	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、牧草、馬鈴薯（食）、デントコーン、アスパラ
	維持管理費節減効果	3 , 3 1 4	用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 6 , 5 1 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		5 2 , 1 7 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	常福
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,310,000 千円	
年 効 用		168,677 千円	
廃 用 損 失 額		19,980 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		39 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,174,660 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	8 , 3 2 3	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、馬鈴薯、大豆小豆、 ^ホ ^ハ ^チ ^ヤ 、 ^メ ^ソ
営農経費の節減	営農経費節減効果	8 1 , 3 0 0	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、馬鈴薯、大豆小豆、 ^ホ ^ハ ^チ ^ヤ 、 ^メ ^ソ
	維持管理費節減効果	3 4 , 4 2 1	用水系統の見直しや用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：頭首工、用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 4 , 6 3 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		1 6 8 , 6 7 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	一已南 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,142,000 千円	
年 効 用		161,435 千円	
廃 用 損 失 額		130,259 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,412,024 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 9 , 8 1 8	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、 ^カ 苧、 ^カ 苧
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 4 , 8 7 6	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、 ^カ 苧、 ^カ 苧
	維持管理費節減効果	3 5 , 1 1 5	用排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	8 1 , 6 2 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		1 6 1 , 4 3 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	多度志西 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	----------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4,261,313 千円	
年 効 用		370,609 千円	
廃 用 損 失 額		121,773 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5,678,055 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3 6 , 3 7 4	用水改良やほ場の排水改良による 転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、小豆、大豆、 $\times\Delta\cap$
営農経費の節減	営農経費節減効果	8 9 , 3 3 8	ほ場の区画整理や用排水の改良による 労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、小豆、大豆、 $\times\Delta\cap$
	維持管理費節減効果	1 4 2 , 9 0 9	用水系統の見直しに伴う施設の改修及び耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、頭首工、貯水池、用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 0 1 , 9 8 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		3 7 0 , 6 0 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	多度志東２期
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,016,931 千円	
年 効 用		156,853 千円	
廃 用 損 失 額		43,221 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,411,443 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 9	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3 1 , 4 6 6	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、小豆、大豆、 $\times\Delta\bigtriangledown$
営農経費の節減	営農経費節減効果	6 3 , 6 5 6	ほ場の区画整理や用排水の改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、小豆、大豆、 $\times\Delta\bigtriangledown$
	維持管理費節減効果	3 2 , 7 4 9	用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 8 , 9 8 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		1 5 6 , 8 5 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	豊里北
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,520,000 千円	
年 効 用		204,763 千円	
廃 用 損 失 額		218,946 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,711,246 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 9 , 3 2 1	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、 ^ホ ホ、 ^ソ ソ
営農経費の節減	営農経費節減効果	7 1 , 3 2 8	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、 ^ホ ホ、 ^ソ ソ
	維持管理費節減効果	7 9 , 6 1 5	用水系統の見直しや用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3 4 , 4 9 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		2 0 4 , 7 6 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	夕張太北
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,921,500 千円	
年 効 用		164,517 千円	
廃 用 損 失 額		98,019 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,915,113 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 3 , 3 5 2	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、キャベツ、ナガサキ
営農経費の節減	営農経費節減効果	9 0 , 7 3 5	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、キャベツ、ナガサキ
	維持管理費節減効果	2 4 , 0 2 5	用水系統の見直しや用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 6 , 4 0 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		1 6 4 , 5 1 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	下岩内北
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3,080,685 千円	
年 効 用		189,047 千円	
廃 用 損 失 額		107,004 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,521,537 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	15,761	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、馬鈴薯
	品質向上効果	527	農道の整備により、荷傷みによる農産物廃棄の低減、舗装に伴う粉塵害の防止 対象作物：水稻、小麦、大豆、馬鈴薯
営農経費の節減	営農経費節減効果	80,241	用水改良や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、馬鈴薯
	維持管理費節減効果	11,429	用排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道、耕作道
	営農に係る走行経費節減効果	2,479	道路整備による農産物等の輸送にかかる経費の低減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	72,257	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	一般交通等経費節減効果	71	道路整備による一般交通にかかる経費の低減
	安全性向上効果	1,230	用水路の暗渠化による事故率の減少
	公共施設保全効果	5,052	ダム整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
計		189,047	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	長沼発祥第 2
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		744,408 千円	
年 効 用		44,447 千円	
廃 用 損 失 額		29,953 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 0 4	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	851,932 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	8,330	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、馬鈴薯、大豆、夕マサ
営農経費の節減	営農経費節減効果	4,467	用水改良や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、馬鈴薯、大豆、夕マサ
	維持管理費節減効果	6,442	用排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	22,357	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	574	用水路の暗渠化による事故率の減少
	公共施設保全効果	2,277	ダム整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
計		44,447	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	幌内第2 2期
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,743,871 千円	
年 効 用		203,818 千円	
廃 用 損 失 額		95,520 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		42 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,114,212 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	34,678	用水改良やほ場の排水改良による 転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、 マメ、馬鈴薯、白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	72,814	ほ場の区画整理や排水改良による 労働時間及び機械稼働時間の短縮 に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、 マメ、馬鈴薯、白菜
	維持管理費節減効果	31,752	用排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
	営農に係る走行経費節減効果	4,649	道路整備による農産物等の輸送にかかる経費の低減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	59,925	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		203,818	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	花月第 1
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5,280,456 千円	
年 効 用		349,961 千円	
廃 用 損 失 額		192,562 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 9 9	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6,820,684 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	41,447	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、苧蓆、大根、刈草
営農経費の節減	営農経費節減効果	128,724	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、苧蓆、大根、刈草
	維持管理費節減効果	84,949	用水系統の見直しや用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	72,506	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	220	用水路の暗渠化による事故率の減少
	公共施設保全効果	4,959	ダム整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
	河川流況安定効果	15,678	ダム設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する
	地域用水効果	490	農業用水を防火用水施設に利用することにより設置費節減
	地域排水効果	252	排水路整備による、農業施設及び公共施設への水害の防止・軽減
	水辺環境整備効果	736	頭首工の附帯工として整備される魚道やダム周辺の修景整備による効果
計		349,961	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	弥生第2 2期
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4,344,038 千円	
年 効 用		334,287 千円	
廃 用 損 失 額		181,857 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		45 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 2 4	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5,175,306 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	47,830	用水改良やほ場の排水改良による 転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、大根、りんご
営農経費の節減	営農経費節減効果	90,468	ほ場の区画整理や用排水の改良による 労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稲、小麦、大豆、大根、りんご
	維持管理費節減効果	136,175	用水系統の見直しに伴う施設の改修及び耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	59,814	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		334,287	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	小藤 9 区
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6,779,325 千円	
年 効 用		458,935 千円	
廃 用 損 失 額		187,819 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 9 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	9,009,275 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	31,776	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、ダイズ
営農経費の節減	営農経費節減効果	86,802	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、ダイズ
	維持管理費節減効果	149,530	用水系統の見直しや用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	130,790	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	地域洪水被害軽減効果	2,052	ダム整備に伴い、洪水被害の軽減
	公共施設保全効果	9,376	ダム整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
	河川流況安定効果	48,609	ダム設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する
計		458,935	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	南竜
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3,101,756 千円	
年 効 用		240,875 千円	
廃 用 損 失 額		81,355 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4,541,986 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	27,483	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、ホウチャ、メロン
営農経費の節減	営農経費節減効果	93,749	ほ場の区画整理や排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稲、小麦、大豆、ホウチャ、メロン
	維持管理費節減効果	30,871	用水系統の見直しや用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	65,552	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	2,154	ダム整備に伴い整備された振替既設道路の維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
	河川流況安定効果	19,834	ダム設置に伴う取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況が安定する
	地域用水効果	452	農業用水を防火用水施設に利用することにより設置費節減
	水辺環境整備効果	780	頭首工の附帯工として整備される魚道やダム周辺の修景整備による効果
計		240,875	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	多寄東
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,386,000 千円	
年 効 用		101,851 千円	
廃 用 損 失 額		186,763 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		37 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,702,866 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	39,658	用水改良やほ場の用排水施設の改修による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、甜菜、馬鈴薯、苺
営農経費の節減	営農経費節減効果	32,995	ほ場の区画整理や用排水施設の改修による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、甜菜、馬鈴薯、苺
	維持管理費節減効果	3,484	用排水施設、耕作道の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、耕作道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	25,714	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		101,851	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	鷹栖西
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		399,000 千円	
年 効 用		31,552 千円	
廃 用 損 失 額			廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	577,875 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5 , 3 7 0	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、トモ、キュウリ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 8 , 9 9 0	ほ場の区画整理や用排水施設の改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、トモ、キュウリ
	維持管理費節減効果	3 , 3 6 8	用水系統の見直しや用排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3 , 8 2 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		3 1 , 5 5 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	九重
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		136,500 千円	
年 効 用		15,984 千円	
廃 用 損 失 額			廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		27 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 2 4	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	256,154 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 8 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	9 , 8 4 2	用水改良やほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、スイートコーン、メロン、トマト、柿、イチゴ
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 , 8 4 8	用水施設の整備やほ場の排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、スイートコーン、メロン、トマト、柿、イチゴ
	維持管理費節減効果	2 0 7	用水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：揚水機場
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 , 0 8 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		1 5 , 9 8 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	女満別豊住
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		829,500 千円	
年 効 用		70,086 千円	
廃 用 損 失 額			廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,173,970 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4 8 , 6 4 1	ほ場の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、小豆、甜菜、馬鈴薯、 タマシ 、牧草、 デ ントコーン
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 0 , 8 8 7	ほ場の排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稲、小麦、小豆、甜菜、馬鈴薯、 タマシ 、牧草、 デ ントコーン
	維持管理費節減効果	1 2 6	排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 3 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		7 0 , 0 8 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	岩手県	地区名	門崎
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 3 4 2 , 0 0 0 千円	
年 効 用		7 6 , 9 8 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 5 0 6 , 5 8 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	8 , 0 0 4	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、さといも、小菊
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 9 , 0 3 8	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻
	維持管理費節減効果	6 , 6 7 5	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 3 , 2 7 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
計		7 6 , 9 8 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	岩手県	地区名	夏川 2 期
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		10,531,000 千円	
年 効 用		982,234 千円	
廃 用 損 失 額		494,493 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		32 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0.0693	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	13,679,158 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.29	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加 作物生産効果	56,635	水田の排水改良等による転作 作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、なす、 きゅうり、牧草
営農経費の節減 営農経費節減効果	785,698	排水改良等では労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、なす、 きゅうり、とまと、 イチゴ、牧草
	-19,569	用排水施設等の改修に伴う施 設の維持管理費の増 対象施設：用排水路、揚水機 農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持 更新効果	159,380	老朽化した施設の更新による 従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、揚水機 農道
地域の生活環境 の保全・向上 非農用地等創設効果	90	換地手法を用いて先行的に公 用地等を合理的、経済的に取 得することによる用地交渉の 期間の短縮、節減や測量経 費、登記手続き等事務経費の 節減
計	982,234	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	田尻中央２期
-----	-------------	-------	-----	-----	--------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		１２，１６９，１２６千円	
年 効 用		８５１，４２６千円	
廃 用 損 失 額		３７，５７１千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		３９年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）		０．０６４８	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	１３，１０１，７１９千円	
費 用 便 益 比	= ÷	１．０７	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	１７，４４３	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、大麦
営農経費の節減	営農経費節減効果	６０１，０８０	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、麦、大豆
	維持管理費節減効果	８８，５８３	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道、町道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	１４４，３２０	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、農道、町道
計		８５１，４２６	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	青生
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 6 1 8 , 2 6 0 千円	
年 効 用		2 9 5 , 4 5 1 千円	
廃 用 損 失 額		5 5 , 1 1 1 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 , 6 1 5 , 7 3 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 5 , 4 8 3	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、大麦、牧草、馬鈴薯、ねぎ、なす、ほうれん草
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 5 4 , 1 7 7	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、麦、大豆
	維持管理費節減効果	6 , 2 9 2	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、町道、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 9 , 4 9 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、町道、農道
計		2 9 5 , 4 5 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	青木川
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 8 6 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 5 3 , 2 2 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 5 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 , 3 8 7 , 4 5 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 2 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 5 , 6 4 6	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、大麦
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 0 4 , 3 6 9	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、麦、大豆
	維持管理費節減効果	1 5 , 9 0 3	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、町道、農道、揚水機
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 7 , 3 0 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、町道、農道、揚水機
計		3 5 3 , 2 2 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	真野大谷地
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 0 9 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 1 9 , 2 3 9 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 , 6 1 0 , 5 2 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 6 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 1 , 3 3 5	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、大麦
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 9 8 , 5 5 3	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、麦、大豆
	維持管理費節減効果	3 , 0 1 1	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、市道、農道、揚水機
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6 , 3 4 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、市道、農道
計		3 1 9 , 2 3 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	津山
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 0 6 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 2 6 , 3 6 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 5 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 2 7 6 , 3 1 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	2 . 1 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	7 , 8 3 2	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、そらめめ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 1 0 , 7 7 3	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
	維持管理費節減効果	7 2 6	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道、町道、揚水機
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7 , 0 3 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、農道、町道、揚水機
計		1 2 6 , 3 6 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	花館
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		540,750千円	
年 効 用		43,707千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	790,362千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.46	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 作物生産効果	4,005	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、枝豆、キャベツ、そら豆
営農経費の節減 営農経費節減効果	30,559	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
維持管理費節減効果	5,453	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道、
施設更新による従前の農業生産の維持 更新効果	3,525	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上 地域資産保全・向上効果	165	将来国土調査を行う予定であるが本事業を実施した場合に行う換地作業により付随的に地籍が明確となる効果
計	43,707	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	大沢
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 8 4 , 3 0 0 千円	
年 効 用		2 6 , 2 6 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 6 1 , 6 1 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 0	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 作物生産効果	7 , 9 0 3	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、枝豆、キャベツ、ねぎ、ほうれん草
営農経費の節減 営農経費節減効果	1 3 , 9 5 4	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
維持管理費節減効果	2 , 8 1 8	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道、
施設更新による従前の農業生産の維持 更新効果	1 , 4 9 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上 地域資産保全・向上効果	9 9	将来国土調査を行う予定であるが本事業を実施した場合に行う換地作業により付随的に地籍が明確となる効果
計	2 6 , 2 6 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	銅屋
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 9 0 8 , 5 0 0 千円	
年 効 用		2 1 0 , 6 5 0 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 7 5 4 , 9 0 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 9	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 作物生産効果	3 3 , 0 3 0	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、枝豆、キャベツ、ねぎ、かぼちゃ、白菜
営農経費の節減 営農経費節減効果	1 3 8 , 4 6 0	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
維持管理費節減効果	1 9 , 5 0 4	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道、揚水機
施設更新による従前の農業生産の維持 更新効果	1 8 , 8 4 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、揚水機
地域の生活環境の保全・向上 地域資産保全・向上効果	8 0 8	将来国土調査を行う予定であるが本事業を実施した場合に行う換地作業により付随的に地籍が明確となる効果
計	2 1 0 , 6 5 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	六郷西部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 8 5 , 6 5 0 千円	
年 効 用		6 2 , 4 1 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 1 5 8 , 0 1 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 6 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5 , 8 2 8	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、枝豆、大根
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 5 , 6 6 5	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
	維持管理費節減効果	7 , 9 9 0	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 , 9 3 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
	計	6 2 , 4 1 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福島県	地区名	合戸
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 9 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 9 , 7 6 8 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 7 4 , 3 9 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 6	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 作物生産効果	2 , 3 3 0	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、馬鈴薯、ブロッコリー
営農経費の節減 営農経費節減効果	1 2 , 9 2 7	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻
維持管理費節減効果	3 , 2 3 3	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持 更新効果	6 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上 水辺環境整備効果	1 , 2 1 4	施設の機能を維持しつつ、周辺の景観や環境に配慮した構造とすることで水辺環境を保全・創造する 対象施設：景観水路
計	1 9 , 7 6 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福島県	地区名	大野第一
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 6 7 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 3 , 4 0 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 1 1 , 7 5 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 7	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 作物生産効果	4 , 7 7 6	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、馬鈴薯、なす、いちご
営農経費の節減 営農経費節減効果	2 3 , 9 9 8	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆
維持管理費節減効果	3 , 7 0 8	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持 更新効果	5 6 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上 水辺環境整備効果	3 5 2	施設の機能を維持しつつ、周辺の景観や環境に配慮した構造とすることで水辺環境を保全・創造する 対象施設：景観水路
計	3 3 , 4 0 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福島県	地区名	天井沢
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 5 3 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 0 , 9 4 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 8 6 , 4 2 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 1	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	4 , 0 6 5	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、そば、ユウカリ、夏秋トマト、白菜、たばこ
品質向上効果	1 4 0	農道舗装による走行中の農産物の荷痛み等が軽減 対象作物：夏秋トマト、桃
営農経費の節減	1 , 6 6 5	排水改良等でほ場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
維持管理費節減効果	3 , 7 6 3	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、農道
営農に係る走行経費節減効果	2 7	農道が改良されることによる農産物の生産並びに流通に係る輸送経費の節減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	1 , 2 4 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、ゲート
地域の生活環境の保全・向上	4 0	施設の機能を維持しつつ、周辺の景観や環境に配慮した構造とすることで水辺環境を保全・創造する 対象施設：環境保全水路
計	1 0 , 9 4 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福島県	地区名	諏訪
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		268,000千円	
年 効 用		17,717千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	296,767千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.10	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 作物生産効果	10,014	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、そば、アスパラガス、りんどう
営農経費の節減 営農経費節減効果	1,080	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲
維持管理費節減効果	4,979	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路
施設更新による従前の農業生産の維持 更新効果	1,504	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、ゲート
地域の生活環境の保全・向上 水辺環境整備効果	140	施設の機能を維持しつつ、周辺の景観や環境に配慮した構造とすることで水辺環境を保全・創造する 対象施設：ほたる水路
計	17,717	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福島県	地区名	長屋
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 4 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 6 , 3 4 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 8 3 , 3 1 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	6 , 8 9 5	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、夏秋トマト、ピーマン、カボチャ
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 , 2 4 2	排水改良等では場条件が改善されることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、トマト、ネギ
	維持管理費節減効果	5 , 0 5 1	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、ゲート
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 , 0 6 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、ゲート
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	9 5	施設の機能を維持しつつ、周辺の景観や環境に配慮した構造とすることで水辺環境を保全・創造する 対象施設：景観水路
計		1 6 , 3 4 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	幸江崎
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 3 1 5 , 9 9 6 千円	
年 効 用		2 1 0 , 3 2 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 8 5 2 , 0 8 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 3 , 6 9 9	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、きゅうり、白菜、トマト、レタス、じゃがいも、キャベツ、露地メロン、かぼちゃ、ねぎ、人参、小麦、大根
	品 質 向 上 効 果	1 , 7 1 0	畑地かんがいによる品質向上 対象作物：ねぎ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 3 1 , 1 4 4	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、きゅうり、白菜、トマト、レタス、じゃがいも、キャベツ、露地メロン、かぼちゃ、ねぎ、人参、小麦、大根
	維持管理費節減効果	8 , 4 7 1	用排水施設等の改修・統廃合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設：用水路、排水路、取水堰、用水機場、支線道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 5 , 2 1 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、取水堰
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	8 2	換地手法を用いた合理的かつ経済的な用地取得による経費節減 対象施設：処理場
計		2 1 0 , 3 2 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	箱田中央
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 3 4 5 , 0 0 0 千円	
年 効 用		8 2 , 3 0 2 千円	
廃 用 損 失 額		1 9 , 6 0 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 4 0 6 , 7 7 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 5 , 4 4 8	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、ねぎ、なす、いちご、小麦
営農経費の節減	営農経費節減効果	4 5 , 4 2 6	ほ場の大区画化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、ねぎ、なす、いちご
	維持管理費節減効果	4 , 9 9 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路、用水機場、取水堰
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 2 , 3 1 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：橋梁、河川、取水堰
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	2 , 2 8 4	公共用地の確保のための土地調査・手続費用等の軽減 対象施設用地：学校用地、河川用地、市道用地

地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	5 2 6	農業用施設の安全対策による向上 対象施設：用水調整池の防護柵
	地域用水効果	1 , 0 5 8	農業用施設が発揮する多面的機能効果 対象施設：用水調整池、排水路
	水辺環境整備効果	2 5 0	動植物の生態系に配慮した整備による水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		8 2 , 3 0 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	松原
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 0 5 9 , 2 8 2 千円	
年 効 用		1 6 6 , 5 7 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 9 2 7 , 4 8 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 2	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 1 , 8 4 7 水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、ねぎ、きゅうり、はくさい
	品 質 向 上 効 果	3 , 1 5 7 湿潤灌漑による作物の単価の増加 対象作物：ねぎ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	9 7 , 7 2 1 ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、ねぎ、きゅうり
	維持管理費節減効果	6 , 5 9 9 用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水機場、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	7 , 0 0 8 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	8 , 6 7 1 換地手法により非農用地を創設することにより経済的な用地取得となる 対象施設：県道、市道、町道
	水辺環境整備効果	1 , 5 7 1 排水路及び調整池を魚類等の生息環境に配慮した構造とすることによる水辺環境の保全 対象施設：排水路、調整池
計		1 6 6 , 5 7 4

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	北赤塚 2
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 7 3 2 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 5 5 , 0 1 3 千円	
廃 用 損 失 額		2 , 2 6 4 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 2 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 9 3 3 , 5 8 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 6 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 , 3 7 6	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大麦、大豆、飼料作物、にら等
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 4 2 , 2 1 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大麦、白菜、いちご、にら、さといも等
	維持管理費節減効果	3 , 2 7 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5 , 6 6 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機
地域の生活環境の保全・向上	地 籍 確 定 効 果	1 , 3 8 7	区画が整形化され、地籍が明確になる。（国土調査と同様の効果の発現）
	水辺環境整備効果	1 , 0 9 6	排水路に魚道落差工や深み水路を設置することによる生息生物の保全 対象施設：排水路
計		1 5 5 , 0 1 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	下板橋
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,043,000千円	
年 効 用		79,529千円	
廃 用 損 失 額		1,226千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		39年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0528	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,505,005千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.44	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3,856	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大麦、白菜、大豆、そば、きゅうり、なす等
営農経費の節減	営農経費節減効果	71,973	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大麦、白菜、大豆、そば、きゅうり、なす等
	維持管理費節減効果	904	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1,398	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	635	区画が整形化され、地籍が明確になる。(国土調査と同様の効果の発現)
	水辺環境整備効果	182	排水路に魚道落差工や深み水路を設置することによる生息生物の保全 対象施設：排水路
	非農用地等創設効果	581	合理的かつ経済的に用地を取得できる。(用地交渉経費、測量経費、登記経費の節減)
計		79,529	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	石橋南部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,015,000千円	
年 効 用		211,258千円	
廃 用 損 失 額		9,539千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		39年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0528	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,991,559千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.98	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	14,584	整備による農地・水利条件等が改良されることにより転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、きゅうり、ほうれん草、大豆、とうもろこし、ねぎ
	品質向上効果	4,649	舗装することにより農作物の荷痛みを防止する 対象作物：きゅうり、とまと、ねぎ、ほうれん草、レタス、白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	151,870	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、麦類、豆類、果菜類、葉菜類、根菜類
	維持管理費節減効果	9,283	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、一般農道
	営農に係る走行経費節減効果	10,161	舗装することにより通作・輸送における走行費が節減される 対象車両：軽4輪、2・6t車

施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	9 , 3 1 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、一般農道
地域の生活環境の保全・向上	安 全 性 向 上 効 果	2 9 0	道路に区画線を引くことにより通行の安全が図られる。 対象施設：一般農道
	水 辺 環 境 整 備 効 果	1 , 3 9 6	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した深み水路とすることによる水辺環境保全 対象施設：排水路
	地 籍 確 定 効 果	1 , 4 7 6	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる 対象区域：地区全域
	非農用地等創設効果	3 , 3 3 0	換地手法を用いて先行的、計画的に公共用地等を取得できる 対象区域：非農用地
	一 般 交 通 等 経 費 節 減 効 果	4 , 9 0 6	道路整備により一般車の走行経費節減 対象施設：計画路線
計		2 1 1 , 2 5 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	栃木県	地区名	下長田上台
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 4 1 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 4 , 4 2 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 7 4 , 6 8 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 9 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 1 , 8 9 7	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、きゅうり、とまと、大豆、にら
	品 質 向 上 効 果	7 2 3	砂利道を舗装することにより農作物の荷痛みを防止する 対象作物：きゅうり、とまと、にら、ほうれん草、レタス
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2 7 5	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	6 0 2	砂利道を舗装することにより通作・輸送における走行費が節減される 対象車両：軽4輪、2t車
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	7 9 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	安 全 性 向 上 効 果	6 3	道路に区画線を引くことにより通行の安全が図られる。 対象施設：道路
	水辺環境整備効果	6 9	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した深み水路とすることによる水辺環境保全 対象施設：排水路
計		1 4 , 4 2 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	埼玉県	地区名	上福田
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 6 8 , 0 0 0 千円	
年 効 用		4 1 , 6 8 0 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 1 0 , 0 5 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	8 , 0 0 1	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大 対象作物：水稻、小麦、大豆 スイートコーン、さといも、ブロッコリー
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 2 , 7 3 6	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減
	維持管理費節減効果	2 , 3 5 4	用排水施設の改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	6 , 5 5 1	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	1 , 7 1 2	親水性、景観、魚類の生息環境への配慮 対象施設：ため池、排水路
	安 全 性 向 上 効 果	3 2 6	安全施設整備による安全性の向上
計		4 1 , 6 8 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	千葉県	地区名	瑞穂
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 1 7 9 , 0 0 0 千円	
年 効 用		8 3 , 5 4 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 2 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数 T=5年
総 便 益	= ÷ -	1 , 3 4 7 , 5 3 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	8 , 0 6 7	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、小麦、飼料作物
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	6 7 , 1 5 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、落花生、トマト等
	維持管理費節減効果	6 0 3	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3 , 7 6 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	3 , 9 5 1	換地手法を用いて先行的、計画的に公共用地等を円滑に創設し、合理的かつ経済的に用地取得する 対象施設：圏央道用地、公園用地、施設用地
計		8 3 , 5 4 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	静岡県	地区名	春岡
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 7 9 , 4 0 0 千円	
年 効 用		4 4 , 0 4 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 8 1 , 7 6 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 2 , 5 3 9	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、小麦
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	5 , 6 3 3	ほ場の乾田化等による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦
	維持管理費節減効果	1 , 1 8 7	用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	4 , 2 9 5	道路の拡幅に伴う走行速度上昇、車種変更による走行経費の節減 対象施設：道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 0 , 3 8 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		4 4 , 0 4 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	佐々木南部郷2期
-----	-------------	-------	-----	-----	----------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 , 5 4 3 , 8 6 5 千円	
年 効 用		4 0 8 , 2 5 8 千円	
廃 用 損 失 額		6 1 , 4 3 3 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 6 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 , 0 7 7 , 7 8 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 7 , 9 8 4	水田の用排水分離、客土及び暗渠排水等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、飼料作物、えだまめ、なす、ばれいしょ、ねぎ
営農経費及び維持管理費の節減	営農経費節減効果	3 1 7 , 7 8 3	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、飼料作物、えだまめ、なす、ばれいしょ、ねぎ
	維持管理費節減効果	9 , 5 3 5	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	5 0 , 1 3 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	2 2	非農用地を換地手法により合理的に創設することによる用地交渉費等の節減
	地籍確定効果	2 , 7 9 5	国土調査に代わり、本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
計		4 0 8 , 2 5 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	時 水 新 田
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 3 0 , 5 0 0 千円	
年 効 用		3 2 , 4 4 0 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 0 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 3 9 , 8 4 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 8	

２．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 , 2 7 2	水田の用排水分離及び暗渠排水による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 0 , 7 0 1	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	4 9 2	用排水分離による水路延長の増、パイプライン化によるファームポンドの増に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：ファームポンド、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	9 3 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路、用水路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	2 7	非農用地を換地手法により合理的に創設できることによる用地交渉費等の節減 対象施設：公共施設用地
計		3 2 , 4 4 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	秋 津 沖
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 1 3 , 5 0 0 千円	
年 効 用		3 8 , 0 5 7 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 9 7 , 0 1 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 , 4 1 6	水田の用排水分離・暗渠排水及び客土による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 6 , 1 9 6	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	5 5 5	用排水分離による水路延長の増、揚水施設の増に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：揚水機場、井戸、用水路、排水路、道路
計		3 8 , 0 5 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	上 横 山
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 9 3 , 0 0 0 千円	
年 効 用		6 8 , 4 5 6 千円	
廃 用 損 失 額		8 5 2 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 9 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 1 5 7 , 4 5 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 6 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3 , 7 4 3	水田の用水改良及び暗渠排水による 転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆
営農経費及び維持管理費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	6 4 , 0 9 2	用水路のパイプライン化による労働 時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	4 0 6	排水施設の改修に伴う施設の維持管 理費の節減 対象施設：用排水路、ファームボン ド
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	2 1 5	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：排水路
計		6 8 , 4 5 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	新 道
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 8 3 7 , 5 0 0 千円	
年 効 用		1 1 3 , 3 3 3 千円	
廃 用 損 失 額		2 8 , 7 2 7 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 9 5 2 , 6 1 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 2 , 4 5 0	水田の用排水改良及び暗渠排水による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆
営農経費及び維持管理費の節減	営農経費節減効果	5 8 , 5 9 6	用水路のパイプライン化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	2 , 4 0 7	用排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、ファームボンド
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3 9 , 6 1 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
地域の生活環境の保全・向上	地 籍 確 定 効 果	2 6 6	国土調査に代わり、本事業の確定測量により地籍が明らかになる効果
計		1 1 3 , 3 3 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	北 都
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 7 7 , 5 6 4 千円	
年 効 用		4 1 , 7 1 4 千円	
廃 用 損 失 額		1 1 , 5 8 8 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 1 1 , 3 5 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 , 0 5 0	水田の用排水分離及び暗渠排水による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、えだまめ
営農経費及び維持管理費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 1 , 8 5 0	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	4 0 2	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 4 , 4 1 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場、用排水路、排水樋管、道路
計		4 1 , 7 1 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	潟
-----	-------------	-------	-----	-----	---

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 , 0 0 1 , 7 2 9 千円	
年 効 用		4 6 0 , 1 3 0 千円	
廃 用 損 失 額		7 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 5 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 , 3 2 0 , 6 0 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 9 , 2 6 3	水田の用排水分離及び暗渠排水による転作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、えだまめ、ねぎ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 7 4 , 8 9 6	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、えだまめ、ねぎ
	維持管理費節減効果	1 , 8 6 7	用排水分離による延長の増、揚水施設の増に伴う施設の維持管理費の増加 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	3 3 , 7 2 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	1 , 1 2 6	換地手法で合理的・経済的に用地を取得できる効果 対象施設：工業用地、農道用地
	公共施設保全効果	1	関連事業（県営かん排）の施行に伴う施設の更新により耐用年数の増加 対象施設：付替道路
	地籍確定効果	2 , 9 8 3	国土調査に代わり本事業により地籍が明確になる効果
計		4 6 0 , 1 3 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	富山県	地区名	六 天
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 4 1 , 5 0 0 千円	
年 効 用		1 6 , 8 8 2 千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		4 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 0 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 3 2 , 9 7 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 4 3	水田の客土による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲
営農経費及び維持管理費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 4 , 1 1 4	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	3 8	用排水施設等の改修、農道の拡幅に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 , 2 8 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計		1 6 , 8 8 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	富山県	地区名	古黒部南部
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,038,240千円	
年 効 用		68,747千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0539	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,275,455千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.22	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3,710	水田の用排水施設の改修及び客土による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、大麦
営農経費及び維持管理費の節減	営農経費節減効果	55,976	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	350	用排水施設等の改修、農道の拡幅に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7,723	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	988	生態系や景観に配慮した整備により、豊かな生態系や親水性が保全される効果 対象施設：排水路
計		68,747	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	富山県	地区名	深 谷
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 7 7 , 0 0 0 千円	
年 効 用		4 8 , 0 8 8 千円	
廃 用 損 失 額		4 7 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 6 1 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 8 5 , 2 8 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	6 , 3 6 1	水田の用排水施設の改修及び客土による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、ばれいしょ、きゅうり、だいこん、キャベツ
営農経費及び維持管理費の節減	維持管理費節減効果	1 9 , 3 4 3	用排水施設等の改修、農道の拡幅に伴う維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	1 8	路面の改良に伴う輸送時間の短縮及び車種の転換 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 2 , 3 6 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		4 8 , 0 8 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	石川県	地区名	四 柳
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 7 3 , 3 4 1 千円	
年 効 用		4 4 , 4 2 1 千円	
廃 用 損 失 額		1 , 9 6 6 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 6 7 , 8 9 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 , 1 3 1	水田の用排水分離及び暗渠排水による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、大麦
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 3 , 7 6 5	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、大麦
	維持管理費節減効果	5 5 4	用排水施設等の改修、揚水施設の新設に伴う維持管理費の増加 対象施設：揚水機場、用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 0 , 6 6 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、国営関連施設（逆水止樋門、排水路、排水機場等）
施設更新による災害防止	災 害 防 止 効 果	5 , 5 9 8	関連事業（国営事業）により逆水止水門、調節水門等が改修され、地域の災害を防止する効果
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	7	換地手法により合理的・経済的に創設できる効果 対象施設：農免農道用地
	文化財発見効果	2 , 5 8 0	埋蔵文化財を保護盛土により後世に継承する効果
	公共施設保全効果	2 1 9	関連事業（国営事業）による市道橋梁の掛け替えにより耐用年数が増加する効果
	水辺環境整備効果	1 1	関連事業（国営事業）による排水機場と周辺整備により自然環境や景観が保全される効果
計		4 4 , 4 2 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	岐阜県	地区名	下池西部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 6 5 3 , 7 5 0 千円	
年 効 用		1 2 0 , 6 5 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 0 2 0 , 9 5 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 0 , 6 2 6	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大根 牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 0 0 , 2 4 3	ほ場の区画拡大による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大根
	維持管理費節減効果	8 , 7 4 9	用排水施設等の改修等に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路、水路、排水機場
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	1 , 0 3 3	国土調査未実施地区で区画整理を行うことにより国土調査費を節減 対象施設：区画整理
計		1 2 0 , 6 5 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	岐阜県	地区名	輪之内本戸
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 4 0 , 7 5 0 千円	
年 効 用		3 3 , 2 4 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 6 6 , 2 8 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 , 8 8 7	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 7 , 1 4 3	ほ場の区画拡大による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、小麦、大豆
	維持管理費節減効果	1 7	用排水路等の改修等に伴う施設の維持管理費の節減及び揚水機場設置に伴う維持管理費の増 対象施設：道路、水路、揚水機場
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	5 1 2	国土調査未実施地区で区画整理を行うことにより国土調査費を節減 対象施設：区画整理
	公共施設保全効果	2 , 3 9 2	既設用水路の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
	安全性向上効果	3 2 4	既設用水路の改修（パイプライン化）に伴う施設の安全性向上 対象施設：用水路
計		3 3 , 2 4 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	愛知県	地区名	茶屋新田
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 1 4 , 5 0 0 千円	
年 効 用		3 0 , 5 0 8 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 4 3 , 8 1 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	9 , 7 4 9	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、かぼちゃ、ねぎ、枝豆、人参
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 , 3 0 9	ほ場の区画拡大による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、かぼちゃ、ねぎ、枝豆、人参
	維持管理費節減効果	5 , 1 4 0	用排水路等の改修等に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、揚水機場
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 4 , 1 0 6	用排水路、揚水機場の改修に伴う施設の更新効果 対象施設：用排水路、揚水機場
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	2 0 4	国土調査未実施地区で区画整理を行うことにより国土調査費を削減 対象施設：区画整理
計		3 0 , 5 0 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	愛知県	地区名	東境銀河
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,808,199千円	
年 効 用		132,159千円	
廃 用 損 失 額		2,883千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,386,972千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.32	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	9,609	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、すいか、小麦、大根
営農経費の節減	営農経費節減効果	44,463	ほ場の区画拡大による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、すいか、小麦、大根
	維持管理費節減効果	5,251	用排水路等の改修等に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	71,512	用排水路、揚水機場の改修に伴う施設の更新効果 対象施設：用排水路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	707	用水路の改修に伴う安全柵施設による安全性向上 対象施設：安全柵
	公共施設保全効果	281	用水路の改修する際に既設橋梁を掛け替えたことによる効果 対象施設：橋梁
	水辺環境整備効果	336	用水路を改修する際に部分的に環境に配慮した整備をしたことによる効果 対象施設：用水路
計		132,159	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	三重県	地区名	鈴鹿川沿岸3期
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,083,735千円	
年 効 用		138,485千円	
廃 用 損 失 額		2,005千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		29年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0612	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,260,822千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.08	

2．年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加 作物生産効果	35,932	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、白菜、小麦大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果 23,281	水田の用水路改修に伴う用水管理費の節減 対象施設：用水路
	維持管理費節減効果 20,398	用水路の改修等に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
	営農に係る走行経費節減効果 2,599	農道の整備（拡幅、舗装）により輸送効率が向上し走行経費が削減される。 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持 更新効果	56,275	用水路、農道の改修に伴う施設の更新効果 対象施設：用水路、農道
計	138,485	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	中野第一
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 8 0 , 1 0 0 千円	
年 効 用		4 3 , 4 9 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 2 3 , 7 8 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 , 6 0 6	水田の排水改良、客土等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、胡瓜、小麦、白菜
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 5 , 3 3 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、胡瓜、小麦、白菜
	維持管理費節減効果	4 , 5 0 4	用排水等施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	1 , 8 2 3	公共用地等の非農用地を捻出することによる用地交渉の期間短縮、測量経費、登記手続等の事務経費の節減 対象施設：道路、公園用地
	地 籍 確 定 効 果	2 2 6	換地事業による地籍の明確化の効果
計		4 3 , 4 9 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	稲枝東
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 3 1 , 0 0 0 千円	
年 効 用		4 8 , 2 3 9 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 0 8 , 0 2 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 , 2 0 7	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、キャベツ、白菜、小麦
	品 質 向 上 効 果	1 0 7	農道の舗装による荷痛みの防止に伴う商品化率の向上 対象作物：キャベツ、白菜
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	4 4 , 7 1 2	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、大豆、キャベツ、白菜、小麦
	維持管理費節減効果	9 1	用排水等施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	6 1 1	農道整備に伴う稼働時間短縮の結果生じる経費節減 対象施設：農道
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	3 1	公共用地等の非農用地を捻出することによる用地交渉の期間短縮、測量経費、登記手続等の事務経費の節減 対象施設：道路、公園用地
	文 化 財 発 見 効 果	1 2 8	文化財の具現化、発掘調査による文化的価値の明確化
	地 籍 確 定 効 果	3 5 2	換地事業による地籍の明確化の効果
計		4 8 , 2 3 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	今西地区
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 9 3 , 2 0 0 千円	
年 効 用		5 1 , 9 6 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 2 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8 3 8 , 1 1 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 5	

2．年効用の総括

項 目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	4 , 1 5 6 水田の排水改良、客土等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、大豆、とまと、キャベツ、小麦、白菜、たまねぎ
	品 質 向 上 効 果	1 , 0 9 1 農道の舗装による荷痛みの防止に伴う商品化率の向上 対象作物：とまと、キャベツ、白菜、たまねぎ、きゅうり、ほうれん草
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	8 , 6 2 3 用排水路整備に伴うかん水労働時間の短縮 対象作物：水稻、大豆、とまと、キャベツ
	維持管理費節減効果	3 , 8 9 5 用排水等施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	3 , 8 7 0 農道整備に伴う稼働時間短縮の結果生じる経費節減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 6 , 6 2 3 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	3 , 7 0 5 排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した石積み水路とすることによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		5 1 , 9 6 3

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	びわ北
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 3 1 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 2 , 7 6 7 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 6 0 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 7 9 , 4 5 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 4	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 , 8 4 2 水田の排水改良、客土等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、とまと、キャベツ、小麦、白菜、たまねぎ
	品 質 向 上 効 果	1 8 農道の舗装による荷痛みの防止に伴う商品化率の向上 対象作物：とまと、キャベツ、白菜、たまねぎ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	4 , 5 6 5 用排水路整備に伴うかん水労働時間の短縮 対象作物：水稲、大豆、とまと、キャベツ
	維持管理費節減効果	1 , 4 0 8 用排水等施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
	営農に係る走行経費節減効果	4 1 1 農道整備に伴う稼働時間短縮の結果生じる経費節減 対象施設：農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 3 , 2 9 4 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	1 , 2 2 9 排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した石積み水路とすることによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		2 2 , 7 6 7

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	兵庫	地区名	山田
-----	-------------	-------	----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,067,850千円	
年 効 用		65,018千円	
廃 用 損 失 額		2,460千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		36年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,188,166千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.11	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	29,359	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、たまねぎ、菊、飼料作物
営農経費の節減	26,743	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、たまねぎ、菊、飼料作物
	1,304	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	710	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：井堰、揚水機
地域の生活環境の保全・向上	6,098	公共用地等の非農用地を捻出することによる用地交渉の期間短縮、測量経費、登記手続等の事務経費の節減 対象施設：道路、河川用地
	285	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した水路とすることによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
	519	換地事業による地籍の明確化の効果
計	65,018	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	兵庫	地区名	市西
-----	-------------	-------	----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 1 7 3 , 4 0 0 千円	
年 効 用		1 4 2 , 7 8 6 千円	
廃 用 損 失 額		1 9 , 0 2 1 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 4 1 3 , 4 4 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 2 , 3 2 9	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、たまねぎ、レタス、白菜、キャベツ、飼料作物
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 0 4 , 2 6 9	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、たまねぎ、レタス、白菜、キャベツ、飼料作物
	維持管理費節減効果	7 , 5 7 6	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 5 , 5 0 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：井戸、揚水機
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	2 , 0 5 6	公共用地等の非農用地を捻出することによる用地交渉の期間短縮、測量経費、登記手続等の事務経費の節減 対象施設：道路用地
	水辺環境整備効果	1 , 0 5 3	ため池の一部を魚類等の生息環境に配慮した石積法面とすることによる水辺環境の保全 対象施設：ため池
計		1 4 2 , 7 8 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	岡山県	地区名	牛 文 沖
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		735,000千円	
年 効 用		45,347千円	
廃 用 損 失 額		21,280千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	798,738千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.08	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5,108	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、麦、大豆、なす
営農経費の節減	営農経費節減効果	35,850	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻、麦、大豆、なす
	維持管理費節減効果	2,632	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1,757	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計		45,347	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	広島県	地区名	小 原
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		9 4 3 , 9 5 0 千円	
年 効 用		7 4 , 3 1 9 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 2 8 8 , 0 2 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 6	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 , 0 2 6	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、飼料、アスパラガス
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	6 1 , 7 7 3	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、飼料、アスパラガス
	維持管理費節減効果	7 4 3	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	6 , 7 7 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		7 4 , 3 1 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	広島県	地区名	矢 多 田
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 4 3 , 6 5 0 千円	
年 効 用		3 9 , 9 4 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 6	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 3 1 , 5 9 3 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 , 3 2 0	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、小麦、飼料、小松菜
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	3 2 , 3 6 6	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、小麦、飼料、小松菜
	維持管理費節減効果	1 6 6	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5 , 0 9 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		3 9 , 9 4 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	山口県	地区名	石束・不動寺原
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 8 2 , 0 0 0 千円	
年 効 用		5 4 , 1 6 6 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 0 0 4 , 9 3 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 , 0 5 9	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、小麦、ブロッコリー、タマネギ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	4 7 , 9 4 2	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、小麦、ブロッコリー、タマネギ
	維持管理費節減効果	2 , 1 0 9	用排水施設等の新設、改良に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：用水路、排水路、道路、ため池
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	6 , 1 8 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、取水堰、道路
地域の生活環境の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	1 , 0 9 1	排水路の一部をホタルの生息に配慮した水路とすることにより、生態系が保全される効果の発現 対象施設：排水路
計		5 4 , 1 6 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	山口県	地区名	伊 陸 西 部
-----	-------------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 3 1 3 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 2 0 , 9 8 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 2 4 4 , 5 6 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 7 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	5 , 3 9 8	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、小麦、キャベツ、イチゴ、なす
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	1 0 4 , 1 6 1	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、小麦、キャベツ、イチゴ、なす
	維持管理費節減効果	1 , 5 8 0	用排水施設等の新設、改修に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	9 , 3 8 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	水 辺 環 境 整 備 効 果	8 0 8	水路の一部を魚類等の生息に配慮した水路とすることにより、生態系が保全される効果の発現 対象施設：用水路、排水路
	文 化 財 発 見 効 果	2 , 8 1 5	基盤造成で付随的に埋蔵文化財が具現化されると共に発掘調査により、文化的価値が明確となる効果の発現
計		1 2 0 , 9 8 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	徳島県	地区名	平 島 上
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		１，２６７，０００千円	
年 効 用		１３２，１５９千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		２９年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）		０．０６０８	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	２，１７３，６６８千円	
費 用 便 益 比	= ÷	１．７１	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	３６，２２９	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、オクラ、大豆、きゅうり、キャベツ
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	９０，０００	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、オクラ、大豆、きゅうり、キャベツ
	維持管理費節減効果	１１３	用排水施設等の新設、改修に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：揚水機場、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	５，１２４	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	地 籍 確 定 効 果	９１９	国土調査が未実施の地域で区画整理により区画が整形化され、付随的に地籍が明確となる効果の発現
計		１３２，１５９	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	愛媛県	地区名	山 田
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 5 3 3 , 0 0 0 千円	
年 効 用		9 6 , 3 3 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 5 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 7 4 2 , 0 0 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	3 , 3 0 0	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、小麦、きゅうり、ケール
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	8 2 , 7 7 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、小麦、きゅうり、ケール
	維持管理費節減効果	2 , 2 9 2	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：取水堰、用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	7 , 9 6 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路
計		9 6 , 3 3 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福岡県	地区名	角田中部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		700,000千円	
年 効 用		41,023千円	
廃 用 損 失 額		21,095千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	720,731千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.02	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	8,587	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、小麦、レタス、大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	25,887	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、レタス、大豆
	維持管理費節減効果	364	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6,174	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	11	換地手法により公共用地等を円滑に創設し、用地交渉期間の短縮及び経費の節減
計		41,023	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福岡県	地区名	沖田川流域
-----	-------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		8 3 4 , 7 5 0 千円	
年 効 用		5 3 , 5 3 2 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 7 7	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	9 2 7 , 7 6 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 1 , 0 4 3	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、二条大麦、大豆、イチゴ、ブロッコリー
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 1 , 1 1 9	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、二条大麦、大豆、イチゴ、ブロッコリー
	維持管理費節減効果	4 9 6	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 1 , 8 6 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		5 3 , 5 3 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福岡県	地区名	中元寺
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 2 4 9 , 5 0 0 千円	
年 効 用		6 8 , 9 7 9 千円	
廃 用 損 失 額		—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 2 9 4 , 1 6 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	6 , 8 2 4	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、大豆、小麦、人参
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 8 , 7 2 4	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、小麦、人参
	維持管理費節減効果	1 3 , 6 5 8	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 3 , 0 3 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	1 , 5 2 2	換地手法により公共用地等を円滑に創設し、用地交渉期間の短縮及び経費の節減
	文化財発見効果	4 , 4 4 7	発掘調査により文化的価値が明確になる
	地籍確定効果	7 6 5	区画が整形化され、地籍が明確になる
計		6 8 , 9 7 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福岡県	地区名	松田
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 8 1 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 5 , 0 0 3 千円	
廃 用 損 失 額		2 5 , 8 9 7 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 6 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 9 8 , 0 4 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	9 , 3 0 6	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、二条大麦、大豆、ネギ、ナス
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 7 , 9 7 5	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、二条大麦、大豆、ネギ、ナス
	維持管理費節減効果	7 8 1	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6 , 9 1 3	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	2 8	換地手法により公共用地等を円滑に創設し、用地交渉期間の短縮及び経費の節減
計		3 5 , 0 0 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福岡県	地区名	深野
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 5 6 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 7 , 9 0 9 千円	
廃 用 損 失 額		2 , 2 4 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 6 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 8 8 , 2 5 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5 , 4 3 8	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、二条大麦、大豆、レタス、イチゴ
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 7 , 8 1 3	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、二条大麦、大豆、レタス、イチゴ
	維持管理費節減効果	4 5 3	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 , 2 0 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		2 7 , 9 0 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	佐賀県	地区名	塩田東部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 2 0 , 8 0 0 千円	
年 効 用		3 2 , 3 9 9 千円	
廃 用 損 失 額		2 , 8 9 5 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 9 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 3 9 , 8 0 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	2 1 , 9 5 0	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大 対象作物：イチゴ、アスパラ、大豆、インゲン、キュウリ、小ネギ
	品質向上効果	1 , 3 4 5	農道の舗装により、生産物輸送の際の損傷の軽減による品質の向上 対象作物：イチゴ、キュウリ、玉ネギ
営農経費の節減	営農に係る走行経費節減効果	8 8	農道舗装の改良により、走行速度、車種転換等による走行経費の節減 対象作物：水稲、玉ネギ、イチゴ、キュウリ、大豆、小麦
	維持管理費節減効果	4 , 4 2 4	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 , 5 9 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用排水路、道路
計		3 2 , 3 9 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	長崎県	地区名	古江
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 2 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		5 0 , 9 4 6 千円	
廃 用 損 失 額		—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	9 4 5 , 1 9 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 3 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 6 , 7 8 1	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、イチゴ、レタス、玉ネギ、スイートコン
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 8 , 9 8 4	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、小麦、レタス、
	維持管理費節減効果	3 8 3	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 , 1 8 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	4 9 8	安全施設整備による安全性の向上
	文化財発見効果	1 0 , 8 8 1	発掘調査により文化的価値が明確になる
計		5 0 , 9 4 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	長崎県	地区名	原田
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 9 5 , 8 5 0 千円	
年 効 用		3 3 , 3 8 5 千円	
廃 用 損 失 額		7 , 2 6 0 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 8 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 6 1 , 4 7 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 4 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 3 , 5 5 3	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、麦
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 8 , 6 0 5	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、麦
	維持管理費節減効果	3 9 4	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	8 3 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	6 9 9	換地手法により公共用地等を円滑に創設し、用地交渉期間の短縮及び経費の節減
	地籍確定効果	8 5	区画が整形化され、地籍が明確になる
計		3 3 , 3 8 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	熊本県	地区名	阿蘇二期
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		5 3 6 , 5 5 0 千円	
年 効 用		3 7 , 2 1 4 千円	
廃 用 損 失 額		1 0 , 7 2 4 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 6 0 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6 0 1 , 3 4 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	7 , 4 3 3	水田の用水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、大豆、イチゴ、トマト、花卉、牧草
営農経費の節減	営農に係る走行経費節減効果	1 , 2 5 3	農道舗装の改良により、走行速度、車種転換等による走行経費の節減 対象作物：水稲、大豆、イチゴ、トマト、花卉、牧草
	維持管理費節減効果	1 , 1 2 4	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、取水堰、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 7 , 4 0 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、取水堰、道路
計		3 7 , 2 1 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	大分県	地区名	城原北部
-----	-------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 2 4 , 5 0 0 千円	
年 効 用		4 0 , 2 5 9 千円	
廃 用 損 失 額		—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 4 6 , 9 2 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 0 , 2 2 9	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、大豆、キュウリ、ピーマン、タバコ、牧草、白ねぎ
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 5 , 3 1 1	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、キュウリ、ピーマン、牧草、白ねぎ
	維持管理費節減効果	1 , 4 9 2	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 , 9 3 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	地籍確定効果	2 9 3	区画が整形化され、地籍が明確になる
計		4 0 , 2 5 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	跡江
-----	-------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 5 8 4 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 9 4 , 6 0 8 千円	
廃 用 損 失 額		—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 0 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 8 3 8 , 4 2 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 7	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4 5 , 8 2 0	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、大根、キュウリ、甘藷、牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 0 5 , 4 9 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大根、キュウリ、甘藷、牧草
	維持管理費節減効果	3 , 8 2 9	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3 2 , 0 9 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	7 7 8	換地手法により公共用地等を円滑に創設し、用地交渉期間の短縮及び経費の節減
	文化財発見効果	3 , 5 2 5	発掘調査により文化的価値が明確になる
	公共施設保全効果	2 , 2 5 2	一般道路の付替と復旧に伴う更新や維持管理費の節減
	地籍確定効果	8 0 9	区画が整形化され、地籍が明確になる
計		1 9 4 , 6 0 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	天神川
-----	-------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 0 6 2 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 3 5 , 9 2 2 千円	
廃 用 損 失 額		—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 2 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 5 7 4 , 2 8 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5 , 3 5 9	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、大豆、大根、ピーマン、キュウリ、トマト、牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	9 9 , 8 1 9	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、大根、ピーマン、キュウリ、トマト、牧草
	維持管理費節減効果	4 , 6 2 7	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 1 , 7 8 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	2 , 4 9 3	換地手法により公共用地等を円滑に創設し、用地交渉期間の短縮及び経費の節減
	文化財発見効果	1 , 8 3 6	発掘調査により文化的価値が明確になる
計		1 3 5 , 9 2 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	川路
-----	-------------	-------	------	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		7 1 4 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 8 , 5 7 4 千円	
廃 用 損 失 額		—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 4 9 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 7 3 , 0 2 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5 , 4 2 8	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、サトイモ、甘藷、タバコ、牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 2 , 1 8 7	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、サトイモ、甘藷、タバコ、牧草
	維持管理費節減効果	2 , 1 6 2	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	8 , 7 9 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
計		3 8 , 5 7 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	第二新富
-----	-------------	-------	------	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,904,700千円	
年 効 用		116,377千円	
廃 用 損 失 額		18,840千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0587	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,963,732千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.03	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	21,373	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や反収の増加 対象作物：水稲、キュウリ、大豆、タバコ、そば、牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	79,697	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、牧草
	維持管理費節減効果	6,838	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	8,306	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
地域の生活環境の保全・向上	文化財発見効果	163	発掘調査により文化的価値が明確になる
計		116,377	